

令和6年度 自己評価学校関係者評価報告書

学校法人 藤和学園
駒沢幼稚園

- 1 教育目標 心も身体もたくましい丈夫な子
友達と仲良く遊べる子
自分のことは自分で出来る子
他を思いやり、感謝の気持ちを持てる子

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

クラスの垣根を越えて異年齢児と関わり、お互いに育ちあう保育を目指す。
絵画面における表現の幅を広げるために、教材研究の実践と実践結果の検証を行う。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取組状況
1	異年齢児の関わり	B	年中児以下のクラスでは、多くの関わる時間を持つことができ、お互いに成長する様子が見られた。 反面、年長児は今まで取り組んできた年長児の活動があり、関わりの時間を取ることが難しかった。
2	教材研究の実践と結果の検証	A	継続して取り組んだことで、実践時期と内容が明らかになり、取組み内容の体制を整えることができた。

評価 (A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果が無かった)

4 総合的な評価結果

評価	理由
B	評価項目について重点的に取り組んだ結果、継続して取り組んだ教材研究については、年間の実践内容が明らかになり、園全体での体制を整えることができた。 異年齢児の関わりについては、年長児の活動見直しが課題となった。小学校との架け橋プログラムも含めて活動内容を精査し、次年度も継続して取り組みたい。

評価 (A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果が無かった)

5 今後の課題

異年齢児のかかわり・・・年長児の活動内容を見直し、園全体で育ちあう保育を目指す。
小学校との連携・・・架け橋プログラムを実践しながら、より良い連携を行う。

6 学校関係者評価委員会の評価

2学期の参観日でも感じたが、子ども達がいきいきと取り組んでいるのが、とても良い。たくさんの体験が子ども達の成長に大きく影響していると感じた。